

本研究では、平成22・23年度の2年間にわたって、小・中学校の通常の学級における「特別な教育的ニーズのある児童生徒に対するアセスメントに基づく学習指導の在り方に関する研究」を行ってきた。これまでの研究の成果と今後の課題について述べる。

1 研究の成果

(1) アセスメントの段階の整理

特別な教育的ニーズのある児童生徒に対するアセスメントを3段階に整理し、それぞれの段階における方法等を示した。小・中学校においては、第2段階のアセスメントである、テストや授業中の様子などからつまづいている課題等について詳しく把握し、そのつまづきの要因と思われる認知の特性等について見立てていくことが大切であることを明らかにすることができた。

(2) 「アセスメントシート」の改善

第2段階のアセスメントとして、通常の学級で指導する教師が、簡便かつ効果的に行うことができる方法として改訂版の「アセスメントシート」を作成した。学習における情報の処理過程を整理するとともに、教師のニーズに応じて、「アセスメントシート」の中の、チェックシート、見立てシート、指導・支援例シート、手立てシートなど必要なシートを選択して活用できるような工夫をした。

(3) 指導・支援の段階の整理

アセスメントと同様に、指導・支援の段階を3段階で捉えた。各段階における指導・支援の基本的な考え方や具体的な手立ての例を示すことで、各学校での指導・支援を体系的に実践できるようにした。

(4) 学級集団や学習環境づくりの観点

特別な教育的ニーズのある児童生徒の多様な「学び方」に応じた授業を行うための土台として、学級集団づくりや教室や黒板などの学習環境づくりの重要性を示し、その工夫の観点を示した。

(5) 自分自身の「学び方」を活用できるようにする指導・支援の在り方の提案

これまで示された指導・支援を行うに当たっては、児童生徒の自己理解を図り、課題解決する力を高めながら取り組むことが重要であることを示し、その具体的な指導・支援の在り方を提案した。

(6) アセスメントに基づいた児童生徒の指導・支援の実践例

研究協力員と連携し、アセスメントに基づく小・中学校での実践を行った。児童生徒の分かりやすさや学びやすさに配慮した様々な工夫や教師間の共通理解の工夫などによって、児童生徒の変容がみられ、教師のアセスメントに対する更なる理解が図られた。

2 今後の課題

(1) 「アセスメントシート」の活用を通して、認知の特性等の見立てやそれに基づく指導・支援に関する事例を蓄積するとともに、チェック項目や認知の特性等の捉え方などを検討し、「アセスメントシート」の有効性を高める必要がある。

(2) 特別な教育的ニーズのある児童生徒に対する指導・支援に関する各学校の指導方法や教材・教具などの情報の共有化を図る取組を進める必要がある。

本研究は、小・中学校の指導・支援体制の状況や児童生徒のつまずきについての教師の「気付き」と、そのつまずきの要因の「見立て」、指導・支援の「手立て」を考えていくアセスメントに基づく学習指導の在り方について検証を行ってきた。

具体的には、小・中学校それぞれの学校規模や指導体制の状況に応じた実践例を通して、通常の学級における指導・支援の在り方（一斉指導や一斉指導の中での個に配慮した指導、通級による指導などの個別の指導等）についての取組を提案できたと考える。

また、本研究を通して、小学校の早い段階で、児童のつまずきの要因を把握し、認知の特性等に応じた指導を全職員の共通理解の下に進めていくことの大切さや、小学校から中学校への「つなぎ」、すなわち、「移行支援シート」や「アセスメントシート」等を活用したアセスメントに基づく学習指導の在り方の継続がいかに大切であるかということも分かってきた。

本研究が、各学校において、特別な教育的ニーズのある児童生徒一人一人に対する学習指導の在り方や各学校における支援体制の在り方等を改善・工夫する取組の参考になれば幸いである。

最後に、本研究を進めるに当たり、アンケート調査に御協力いただいた関係小・中学校、実践例を提供して下さった研究協力員の先生方に心からお礼を申し上げたい。

【引用・参考文献】

- 鹿児島県総合教育センター 『研究紀要 第112号』 平成20年3月
- 鹿児島県総合教育センター 『研究紀要 第114号』 平成22年3月
- 文部科学省 『小学校学習指導要領解説 総則編』 平成20年8月
- 文部科学省 『中学校学習指導要領解説 総則編』 平成20年8月
- 文部科学省 『特別支援学校学習指導要領 総則等編』 平成21年6月
- 文部科学省 『特別支援学校学習指導要領 自立活動編』 平成21年6月
- 文部科学省 『生徒指導提要』 平成22年3月
- 国立特別支援教育総合研究所
『小・中学校等における発達障害のある子どもへの
教科教育等の支援に関する研究』 平成22年3月
- 宇野宏幸編 『発達障害研究から考える通常学級の授業づくり』
平成22年1月 金子書房
- 三宮真智子編 『メタ認知－学習力を高める高次認知機能－』
平成20年10月 北大路書房
- 竹田契一ほか著 『LD児の言語・コミュニケーション障害の理解と指導』
平成19年9月 日本文化科学社
- 鳥居深雪 『脳からわかる発達障害』 平成21年9月 中央法規
- 上野一彦編 『軽度発達障害の心理アセスメント』 平成17年1月 日本文化科学社
- 藤田和弘編 『WISC-IIIアセスメント事例集』 平成17年4月 日本文化科学社
- 篁倫子編著 『学校で活かせるアセスメント』 平成19年12月 明治図書
- 日本LD学会 『LD・ADHD等関連用語集 第3版』 平成23年1月 日本文化科学社
- 藤田和弘編著 『長所活用型指導で子どもが変わる』 平成10年6月 図書文化
- 東京都日野市公立小中学校全教師・教育委員会
『通常学級での特別支援教育のスタンダード』
平成22年8月 東京書籍